

一般社団法人 日本医学会連合

<2020 年度>

事業報告書

決算報告書

監査報告書

自 2020 年 4月1日

至 2021 年 3月31日

事業報告書

I. 組織の状況

1. 会員数

138 学会（2021 年 3 月 31 日現在）

2. 2020 年度 新規入会状況

2 学会

日本骨代謝学会

日本婦人科腫瘍学会

II. 各種会議

1. 社員総会

- 2019 年度 事業報告及び決算について承認した。
- 2020 年度 事業計画及び予算について了承した。
- 2020 年度 会費徴収について了承した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。

2. 理事会

- 2019 年度 事業報告及び決算を承認した。
- 2020 年度 会費徴収方法について確認した。
- 2021 年度 事業計画及び予算を承認した。
- 2020 年度 社員総会の議題を了承した。
- 加盟学会連絡協議会の議事を了承した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。
- アカデミアとしての社会的役割について検討し、以下の対応を行った。
 - 声明等の情報発信
 - ・ 一般社団法人日本医学会連合 声明 新型コロナウイルスとの戦い（2020 年 4 月 10 日）
 - ・ 一般社団法人日本医学会連合 緊急提言 進行する医療崩壊をくい止めるために（2020 年 4 月 29 日、内閣総理大臣及び厚生労働大臣に提出）
 - ・ COVID-19 関連サイト集（2020 年 5 月 15 日）
 - ・ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止についての国民へのお願い（2020 年 7 月 17 日、記者発表）
 - ・ 日本学術会議の第 25 期新規会員任命について（声明）（2020 年 10 月 6 日）
 - ・ 政府による日本学術会議第 25 期新規会員任命見送りによる学術の独立性毀損に関する声明（医療系 4 団体による合同の声明文（一般社団法人日本医学会連合・一般社団法人日本歯科医学会連合・公益社団法人日本薬学会・一般社団法人日本看護系学会協議会））（2020 年 12 月 1 日、オウンドメディア配信）
 - ・ 感染症法等の改正に関する緊急声明（2021 年 1 月 14 日）
 - ・ 提言 健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言のための情報分析と活用並びに人材支援組織の創設（2021 年 1 月 16 日、記者発表）
 - 新たな委員会等の設置
 - ・ Japan CDC（仮称）創設に関する委員会（第二次）

- ・ 健康医療分野におけるビッグデータに関する委員会
 - ・ COVID-19 expert opinion working group
 - ・ オンライン診療に関する検討会議
 - ・ 医療系学会協議会（仮称）（一般社団法人日本医学会連合・一般社団法人日本歯科医学会連合・公益社団法人日本薬学会・一般社団法人日本看護系学会協議会）
 - 日本学術会議との連携
 - ・ 日本学術会議 学術フォーラム「新型コロナウイルス感染症コントロールに向けての学術の取り組み」（共催）（2020年11月28日）
 - ・ 日本学術会議 学術フォーラム「危機の時代におけるアカデミーと未来」（2021年2月27日）
 - ・ 日本学術会議 日本医学会連合 意見交換会（2020年11月5日）
 - ・ 日本学術会議 学協会懇談会（2020年12月2日）
- 厚生労働省からの研究依頼に対応した（厚労科研費）。
 - 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）「ICTを活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究」（研究代表者：門田 守人）
 - 厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）「新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式による生活習慣の変化およびその健康影響の解明に向けた研究—生活習慣病の発症および重症化予防の観点から—」（研究分担者：門田 守人）
 - 厚生労働行政推進調査事業補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）献体による効果的医療技術教育システムの普及促進に関する研究（研究分担者：森 正樹）
- 役員選挙の投票のオンライン化について了承した。
- 「旧優生保護法の検証のための検討会」報告書への日本医学会連合としての対応について検討した。
- 緊急声明等の発出時における加盟学会承認手続きについてのアンケートについて検討した。
- 血液クレンジング療法への対応について検討した。
- プレプリントのあり方について検討し、日本医学雑誌編集者会議（Japanese Association of Medical Journal Editors; JAMJE）に打診した。
- 随時、企画運営会議、各委員会・小委員会・作業部会等の関係機関の報告内容を確認した。

3. 企画運営会議

- 2019年度 事業報告及び決算を了承した。
- 2020年度 会費徴収方法について確認した。
- 2021年度 事業計画及び予算を了承した。
- 2020年度 理事会の議題について検討した。
- 2020年度 社員総会の議題について検討した。
- 2020年度 加盟学会連絡協議会の議事について了承した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。
- 役員選挙の投票のオンライン化について了承した。

- 随時、各委員会・小委員会・作業部会等の関係機関からの打診内容の検討及び報告内容の確認を行った。
- 日本学術会議 日本医学会連合 意見交換会を行った。
- 日本学術会議 学協会懇談会を行った。
- 「旧優生保護法の検証のための検討会」報告書への日本医学会連合としての対応について検討した。
- 緊急声明等の発出時における加盟学会承認手続きについてのアンケートについて検討した。
- 医療系学会協議会（仮称）の設立について検討した。
- 日本学術会議 学術フォーラムとの共催について検討した。
- 関連団体と連携した日本学術会議の第 25 期新規会員任命の件に関する具体的な行動について検討した。
- 医薬品等行政評価監視委員会の委員候補の推薦について検討した。
- 日本専門医機構の会費値上への対応について検討した。
- 血液クレンジング療法への対応について検討した。
- 以下の依頼を了承した。
 - 後援依頼：2020 年度 全国公正研究推進会議 ~COVID-19 を経験した世界のニューノーマルな公正研究と教育~」（公正研究推進協会）
 - 後援依頼：2021 年度「日本消化器内視鏡学会総会第 100 回記念式典」（日本消化器内視鏡学会）
 - 後援依頼：第 19 回国際動脈硬化学会議（日本動脈硬化学会）
 - 後援依頼：World No Tobacco Day（世界禁煙デー）記念イベント（タバコ問題首都圏協議会）
 - 賛同依頼：第 20 回国際小児腎臓学会 誘致（日本小児腎臓病学会）
- 以下の内容を確認した。
 - 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）「ICT を活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究」（研究代表者：門田 守人）
 - 厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）「新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式による生活習慣の変化およびその健康影響の解明に向けた研究—生活習慣病の発症および重症化予防の観点から—」（研究分担者：門田 守人）
 - 厚生労働行政推進調査事業補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）献体による効果的医療技術教育システムの普及促進に関する研究（研究分担者：森 正樹）

4. 各委員会報告

(1) 総務委員会

- 委員会の強化の方策（アドバイザー、若手委員の追加等）について検討した。
- 委員会等の種別の整理（常設委員会、アド・ホック委員会、特別委員会等）について検討した。
- 緊急案件にかかわる業務への対応（アウトソーシング等）について検討した。
- 事務機能の強化の方策について検討した。
- 弁護士の顧問契約について検討した。
- 関連団体と連携した日本学術会議の第 25 期新規会員任命の件に関する具体的行動案について検討した。

- 選挙管理委員会として、役員選考にかかわる会務を行った。
- 日本医学会創立 120 周年記念事業 記念式典の事前準備のサポートを行った。

(2) 財務委員会

- 2019 年度 決算報告書を作成した。
- 2020 年度 会費の納入状況を確認した。
- 2021 年度 予算案を作成した。
- 事業費と管理費の区別について、より実運用に合うように整理を行った。
- Web 会議について、旅費規程の日当として運用することを申し合わせた。

(3) あり方委員会

- 他の学術団体との連携方法について検討した。
- 加盟学会以外の団体と連携する場合の会員種別について検討した。
- 旧優生保護法の検証のための検討会報告書における提言への対応について検討した。
- 2020 年度 加盟学会連絡協議会を開催した（参加学会数：136 学会中 107 学会）。
 - テーマ：「日本医学会 120 周年記念『未来への提言』を考える」
 - 日時：2021 年 2 月 10 日（水曜日）15 時から 17 時まで
 - 会場：オンライン開催（Zoom）
 - プログラム：
 1. 開会の挨拶
門田 守人（日本医学会連合 会長）
 2. 未来への提言アンケートの集計結果（速報）
飯野 正光（日本医学会創立 120 周年記念事業 未来への提言作成委員会 委員長、日本医学会連合 副会長）
 3. 健康の社会的決定要因－社会疫学からの未来への提言－
近藤 克則（千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授、国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究 部長）
 4. COVID-19 が加速するオープンサイエンスから見通す、研究費、研究活動、研究成果公開の未来
林 和弘（文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター 動向分析基盤ユニット）
 5. 医学・医療倫理の未来－医学者・医療者が自ら取り組むことと、患者・市民を含む分野横断型協働の重要性－
加藤 和人（大阪大学大学院医学系研究科 医の倫理と公共政策学分野 教授）

(4) 広報委員会

- Web サイトのリニューアルを行った（2020 年 7 月 29 日）。
- YouTube チャンネルを開設した（2020 年 12 月 1 日）。
- Web サイト、YouTube、PR TIMES によるメディアへの情報発信を行った。
 - 政府による日本学術会議第 25 期新規会員任命見送りによる学術の独立性毀損に関する声明（日本歯科医学会連合、日本薬学会、日本看護系学会協議会との 4 団体による共同声明）の動画収録・発信（2020 年 12 月 1 日）
 - 感染症法等の改正に関する緊急声明の取りまとめと発信（2021 年 1 月 14 日）
 - 提言 健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言のための情報分析と活用並びに人材支援組織の創設の提言動画収録・発信（2021 年 1 月 16 日）

- 上記を含め、プレスリリース 7 件、お知らせ 7 件、活動報告 3 件を Web サイトで発信。
 - コンテンツの転載許諾申請への対応について検討した。
- (5) 教育および人材育成検討委員会
- 専門医制度小委員会の今期の課題について確認した。
 - 研究者養成に関する提言に向けてのアンケートの準備状況を確認した。
 - 専門医制度小委員会
 - 臨床研修医の地方での研修制度について、「地域医療の安定のための医師養成制度改革」に関する要望（案）、医療法等の一部を改正する法律案等を確認のうえ、方策を検討した。
 - 研究者育成小委員会
 - 研究者養成に関する調査を行い、集計作業に着手した。調査対象数は 1,708 となった（加盟学会 136、病院 1,171（基幹型臨床研修病院 1,022、国立高度専門医療研究センター 8、国立病院機構 141）大学医学部 82、大学歯学部 29、大学薬学部 75、大学公衆衛生学部・学科 4、大学保健看護学部・学科 211））。
- (6) 労働環境検討委員会
- 勤務医の労働環境の改善に向けての調査を行った（対象：加盟学会 136）。
 - 医師の働き方改革をめぐる国の分科会などの動向確認を行った。
 - 医師の働き方改革を進めるための重要な方策と取り組み例の確認を行った。
 - 厚生労働省研究班 医師の勤務実態調査の報告ならびに長時間労働の医師の健康確保措置に関するマニュアルの概要
 - 外科領域におけるタスクシフトについて
 - 若手を対象にした日本臨床外科学会のアンケート結果について ほか
 - 我が国の医師研修の歴史や医療提供体制とも大きく関わる諸課題の確認を行った。
- (7) 男女共同参画等検討委員会
- 男女共同参画など多様な背景を持つ会員の学術活動への参画と今後の支援方策に関する調査報告書を公開した。
 - 令和 3 年度 女性医師支援担当者連絡会の次第案を確認した（令和 2 年度は中止）。
- (8) 研究推進委員会
- ゲノム編集技術の医学応用に関する検討作業部会
 - ゲノム編集技術の医学における有用性について紹介する目的で、体細胞のゲノム編集による新たな治療法に関する Website の設置について検討した。
 - 日本医学会連合 基礎部会 Rising Star リトリート
 - 第 2 回の開催（対面での開催）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて延期とした。
 - 日本医学会連合 社会部会 若手リトリート
 - 第 1 回を 2021 年 3 月 5 日（金曜日）にオンラインで開催した（参加者：37 名（日本医学会連合 社会部会加盟学会会員 30 名、オブザーバー 1 名、シニア委員 1 名、社会部会役員 5 名））。
 - 加盟学会連携フォーラム共催事業
 - 2020 年度に採択された加盟学会連携フォーラムの申請学会は、次の 2 学会であった。日本解剖学会、日本臨床検査医学会。

- 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ
 - 報告書の作成、領域横断的なフレイル・ロコモ対策を推進する宣言文の公表に向けて、検討した。
 - このワーキンググループの取組みについて賛同を募り、日本医学会連合加盟 55 学会及び非加盟 22 学会・団体の計 77 学会・団体の賛同を得た。次いで、領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ全体会議に向けた説明会及びアンケートを行った。
- (9) 研究倫理委員会
- 旧優生保護法の検証のための検討会
 - 旧優生保護法の検証のための検討会報告書について、2020 年 6 月 25 日に日本医学会連合会長に手交され、次いで記者発表を行った。
 - 旧優生保護法の検証のための検討会報告書及び概要版を公開した。
 - 旧優生保護法の検証のための検討会報告書への対応について、加盟学会にアンケートを行った。
 - 臨床研究法のあり方検討委員会
 - 臨床研究法の改正に関する状況を確認した。
- (10) Japan CDC（仮称）創設に関する委員会（第二次）
- 提言 健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言のための情報分析と活用並びに人材支援組織の創設（2021 年 1 月 7 日付）をまとめ、2021 年 1 月 16 日に記者発表を行った。
 - 提言の内容の実現に向けて具体的な検討を進めるべく、ワーキンググループの設置の準備を行った。
- (11) 健康医療分野におけるビッグデータに関する委員会
- 参考人を招き、疫学研究におけるがん登録の利活用をめぐる諸課題を確認した。
 - 健康医療分野のビッグデータ利活用、特にその理念とあり方について、提言の形で国民への科学に基づくメッセージを発出すべく、医学におけるビッグデータを考えるワーキンググループを健康医療分野におけるビッグデータに関する委員会に改組した。
- (12) 診療ガイドライン検討委員会
- COVID-19 expert opinion working group を設置し、以下の情報を公開した。
 - 日本医学会連合 COVID-19 expert opinion（和文・英文）
 - 新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起 様々な基礎疾患（持病）など、重症化リスクをお持ちの皆様へ
 - 日本医学会連合 COVID-19 ワクチンの普及と開発に関する提言
 - オンライン診療に関する検討会議を設置し、厚生労働省からの要請に基づき、「オンライン初診に適さない症状」「オンライン初診での処方に適さない薬剤」の提言について検討し、厚生労働省に提出する第一次案を作成した。

貸借対照表
(2021年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	209,817,666	135,286,630	74,531,036
前払費用	469,527	381,775	87,752
仮払金		2,838,995	△ 2,838,995
流動資産合計	210,287,193	138,507,400	71,779,793
2. 固定資産			
(1) 特定資産	0	0	0
(2) その他の固定資産			
工具器具備品	327,304	327,304	
減価償却累計額	△ 327,303	△ 248,887	△ 78,416
預託金	40,000	0	0
長期前払費用	0	0	0
その他の固定資産計	40,001	78,417	△ 38,416
固定資産合計	40,001	78,417	△ 38,416
資 産 合 計	210,327,194	138,585,817	71,741,377
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,308,962	7,530,810	△ 3,221,848
預り金	363,629	206,234	157,395
流動負債合計	4,672,591	7,737,044	△ 3,064,453
2. 固定負債			
引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	4,672,591	7,737,044	△ 3,064,453
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産	205,654,603	130,848,773	74,805,830
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	205,654,603	130,848,773	74,805,830
負債及び正味財産合計	210,327,194	138,585,817	71,741,377

2020年度年度損益計算書
(正味財産増減計算書)

一般会計

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	58,611,400	57,413,100	1,198,300
雑収益	48,240	1,241	46,999
受取利息	1,244	1,241	3
雑収益	46,996	0	46,996
経常収益計	58,659,640	57,414,341	1,245,299
(2) 経常費用			
事業費	7,096,343	21,360,194	△ 14,263,851
旅費交通費	1,897,604	8,526,671	△ 6,629,067
通信運搬費	180,924	107,241	73,683
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	372,900	1,728,000	△ 1,355,100
賃借料	134,670	1,210,430	△ 1,075,760
租税公課	0	0	0
諸謝金	412,500	854,304	△ 441,804
助成費	1,400,000	4,400,000	△ 3,000,000
委託費	2,695,018	3,960,677	△ 1,265,659
渉外費	0	0	0
会議費	874	499,711	△ 498,837
図書・文献購入費	1,010	0	1,010
支払手数料	843	73,160	△ 72,317
管理費	44,530,139	46,064,782	△ 1,534,643
給与手当	16,896,413	13,639,713	3,256,700
法定福利費	2,294,288	2,000,427	293,861
福利厚生	0	0	0
旅費交通費	1,020,266	4,443,759	△ 3,423,493
通信運搬費	1,418,287	622,507	795,780
消耗品費	2,231,225	1,769,641	461,584
消耗什器備品費	916,690	1,332,929	△ 416,239
リース料	1,196,553	1,093,824	102,729
印刷製本費	0	270,000	△ 270,000
賃借料	3,163,766	3,301,651	△ 137,885
諸謝金	1,593,900	1,204,340	389,560
租税公課	70,000	70,600	△ 600
委託費	6,637,783	7,421,085	△ 783,302
広報費	3,722,200	5,866,336	△ 2,144,136
諸会費	1,400,000	1,400,000	0
渉外費	0	145,260	△ 145,260
会議費	38,472	135,918	△ 97,446
図書・文献購入費	30,600	580	30,020
支払手数料	453,280	413,612	39,668
保険料	21,600	158,985	△ 137,385
修繕費	1,346,400	775,198	571,202
減価償却費	78,416	78,417	△ 1
厚労研究費ICT間接経費		△ 80,000	80,000
経常費用計	51,626,482	67,424,976	△ 15,798,494
当期経常増減額	7,033,158	△ 10,010,635	17,043,793
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,033,158	△ 10,010,635	17,043,793
一般正味財産期首残高	130,164,876	140,175,511	△ 10,010,635
一般正味財産期末残高	137,198,034	130,164,876	7,033,158
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	137,198,034	130,164,876	7,033,158

特別会計（記念事業）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益	0	0	0
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	313,370	0	
旅費交通費	196,770	0	196,770
委託費	50,600	0	50,600
諸謝金	66,000	0	66,000
経常費用計	313,370	0	313,370
当期経常増減額	△ 313,370	0	△ 313,370
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 313,370	0	△ 313,370
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 313,370	0	△ 313,370
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 313,370	0	△ 313,370

特別会計（厚生労働省研究費ICT）

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1)経常収益			
受取研究費	16,101,000	11,952,000	4,149,000
直接経費	16,021,000	11,872,000	4,149,000
間接経費	80,000	80,000	0
経常収益計	16,101,000	11,952,000	4,149,000
(2)経常費用			
研究費支出	15,558,000	15,380,440	
直接経費	15,501,000	12,127,440	3,373,560
間接経費	57,000	80,000	△ 23,000
返納金	0	3,173,000	△ 3,173,000
経常費用計	15,558,000	15,380,440	177,560
当期経常増減額	543,000	△ 3,428,440	3,971,440
2、経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	543,000	△ 3,428,440	3,971,440
一般正味財産期首残高	683,897	4,112,337	△ 3,428,440
一般正味財産期末残高	1,226,897	683,897	543,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,226,897	683,897	543,000

特別会計（厚労科研コロナウイルス(20CA2046)）

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1)経常収益			
受取研究費	70,303,000	0	70,303,000
直接経費	49,212,100	0	49,212,100
間接経費	21,090,900	0	21,090,900
経常収益計	70,303,000	0	70,303,000
(2)経常費用			
研究費支出	2,759,958	0	2,759,958
直接経費	840,584	0	840,584
間接経費	1,919,374	0	1,919,374
経常費用計	2,759,958	0	2,759,958
当期経常増減額	67,543,042	0	67,543,042
2、経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	67,543,042	0	67,543,042
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	67,543,042	0	67,543,042
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	67,543,042	0	67,543,042

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 ・固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。
 工具器具備品…定率法
- (2) 消費税等の会計処理
 ・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産

該当なし

3. 担保に供している資産

該当なし

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

貸倒引当金の計上をしていない

5. 保証債務等の偶発債務

該当なし

6. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益

該当なし

7. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和2年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業)	厚生労働省	683,897	16,101,000	15,558,000	1,226,897	一般正味財産
令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)	厚生労働省	0	70,303,000	2,759,958	67,543,042	一般正味財産

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

附属明細書

1. 特定資産の明細
該当なし
2. 引当金の明細
該当なし

監査報告書

2021年5月14日

一般社団法人日本医学会連合
会長 門田 守人 殿

一般社団法人 日本医学会連合

監事 岩尾 洋



監事 秋葉 澄伯 印

監事 矢富 裕 印

監事 里見 進 印

2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次とおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

監査報告書

2021年5月14日

一般社団法人日本医学会連合
会長 門田 守人 殿

一般社団法人 日本医学会連合

監事 岩尾 洋 印

監事 秋葉 澄伯



監事 矢富 裕 印

監事 里見 進 印

2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

監査報告書

2021年5月14日

一般社団法人日本医学会連合
会長 門田 守人 殿

一般社団法人 日本医学会連合

監事 岩尾 洋 印

監事 秋葉 澄伯 印

監事 矢富 裕 印

監事 里見 進 印



2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

監査報告書

2021年5月14日

一般社団法人日本医学会連合
会長 門田 守人 殿

一般社団法人 日本医学会連合

監事 岩尾 洋 印

監事 秋葉 澄伯 印

監事 矢富 裕 印

監事 里見 進



2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上